

「米国ワシントン大学短期英語プログラムに参加して」

札幌校2年目 言語社会教育専攻 英語教育分野 堀澤拓磨

(1) プログラムで受講した授業に対する印象・コメント

このプログラムでは授業の初日にテストがあり、それによりクラス分けがされ、二日目から授業が始まりました。

テストはTOIECのPart 5のような短文穴埋め問題と先生1人に対して学生2人で行われるインタビューテストでした。どちらも自分の英語力を図るものなので、特に対策みたいなものはしていなくてよいと思います。とかしいないでいって、クラス分けをされた方が、周りのレベルにも合うしいと思います。難しいものではないので心配せずに臨んでほしいと思います。

授業は自分のクラスでは、メインとして授業の最終日に行うプレゼンテーションの準備やそれに向けてのインタビューの練習、他には映画鑑賞、自己紹介、ディスカッションなど、自分の考えを英語を使って表現する練習が多いなと感じました。英語が苦手な自分でもこのプログラムを通して英語を話そうという意識が変わった気がします。

またこのプログラムに対するコメントとしては、参加者がほぼ日本人だということ。メリットとしては相手も日本人だし下手でも英語をたくさん使って、時には間違っても責められたりすることはないので勇気を持って話せるということです。デメリットとしてはネイティブではないので、発音や文法の細かいところは授業中に学んだりすることはないなと感じました。日本人だから日本語を使ってしまうのではないかとと思う人もいるかもしれませんが、自分のクラスでは授業中に日本語を使わないようにして、英語のみで話すようにしていました。そこは留学したくて来ている人ばかりなので心配ないと思います。ネイティブと学べる環境がいいと考える人は、他のプログラムを検討することをおすすめします。また午前中で授業が終わるのですが、午後からは大学側が企画してくれたアクティビティがあり、自由参加なのですが、いろいろなところに行けました。



ハリーポッターの講堂をモチーフ
に作られた図書館
(Suzallo Library)

(2) ワシントン大学での生活体験、次回の参加者に向けて

ワシントン大学はとても大きく、大学が町のように在り、建物も大きく驚きの連続でした。またシアトルは自然豊かながら、中心部に行けばビルが立ち並び、治安もよく生活するにはとても良い街だと感じました。観光地としても行けば楽しいところがたくさんありました。その中でも一番ためになったのはやはりホームステイだったと思います。夜は毎日家に帰りますし、英語の発話機会も増えるからです。自分のホームステイ先はマザーの他に留学生が6人もいました。インドネシアや中国、アフリカの国と様々で英語を使って会話しなければいけないので、自分の英語力を鍛えることができました。やはり授業中に日本人と英語で話すよりも、ホームステイ先で他国の留学生と話すほうが勉強になることが多かったです。

次にシアトルに行く人へのアドバイスとしては、初めに対策はしていなくてもいいと言いましたが、日頃から英語をしっかりと勉強していく事はとても大切だと思います。このプログラムにはスコアなどは必要ないのですが、TOEICなどの勉強の他に日々の日本での生活から英語に触れる機会を増やしていくことが必要になると思います。そのほうがシアトルに行ったとき困らずに済むと思いますし、向こうの生活にも早く馴染めると考えられます。

また一番役立つと思うことはバスの利用方法についてです。シアトルでの移動はほとんどがバスになると思うのですが、U-PASS という学生証に付属のものを購入すべきだと思います。高いのですが、それを買えば乗り放題なので、もう一つのORCAカード(札幌でいうKitaca)よりもお得です。かなりバスを使う機会が多くなると思うので。他に持ち物としてクレジットカードは必ず必要です。自分は二枚持って行ったのですが、二枚持って行ったほうが良いと思います。またシアトルはこの時期雨が多く、週5日くらいは雨です。なので雨具の用意もしっかりとしていったほうが良いです。

多くの日本人とも知り合えて、現地の人ともコミュニケーションをとれる機会がとても多いので、みなさんもぜひ参加してみてください！



ホストファミリーと



ダウンタウンにある
スターバックス世界一合店